

ICTを活用した 診療室－講義室 同時中継講義の実施

2009.12.22 歯学部歯学科4年

講義・診療担当：全部床義歯補綴学分野 水口俊介 教授

講義室担当：全部床義歯補綴学分野 金澤 学 助教

平成19年度現代GP採択取組の一環として、平成21年12月22日に歯学部歯学科4年生対象の「咬合回復Ⅰモジュール：可撤性義歯」講義において、診療室と講義室を結んだ同時中継を実施した（個人トレーの筋形成）。無記名のアンケートにより学生から高い評価を得た。

診療室



講義室



同時中継講義

同時中継講義における学生(51名)からの評価

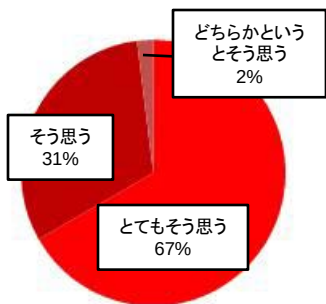
各質問に対し

「とてもそう思う」
「そう思う」
「どちらかというと思う」
「どちらかというと思わない」
「そう思わない」
「全くそう思わない」

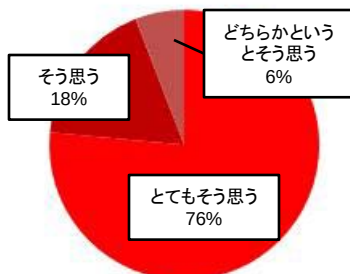
の6段階で評価した

「無回答」

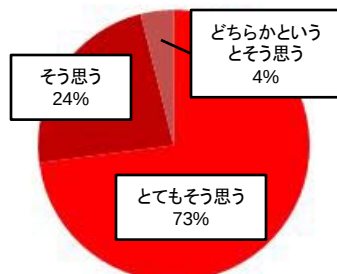
■ 同時中継講義に興味を持てましたか？



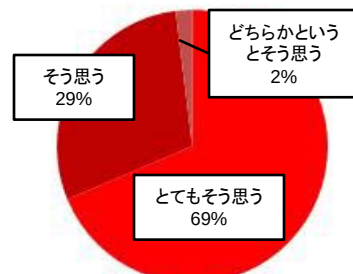
■ 同時中継講義はわかりやすかったですか？



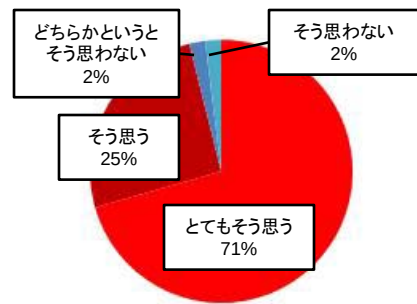
■ 同時中継講義の内容は将来役立つと思いますか？



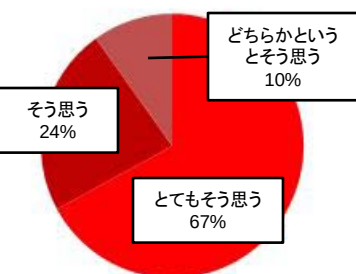
■ 同時中継講義で、診療現場の臨場感を感じられましたか？



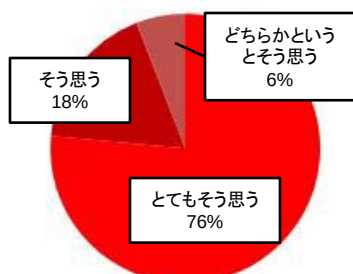
■ 同時中継講義を受けたことにより、通常の講義や実習に対する興味を深めることができましたか？



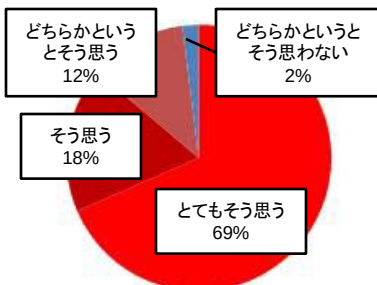
■ 同時中継講義をもっと受講したいですか？



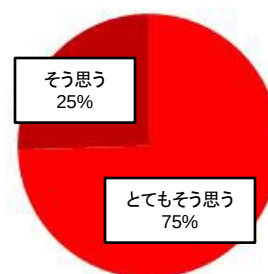
■ 同時中継講義は今後とも続けるべきだと思いますか？



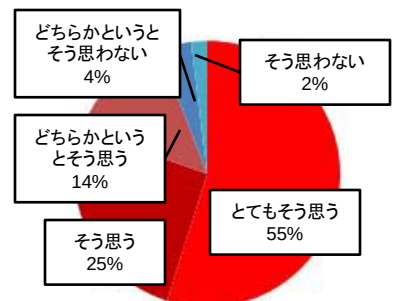
■ 同時中継講義は、同じ内容のビデオを視聴するのに比べて良かったと思いますか？



■ 同時中継講義は、同じ内容の講義を聴講するのに比べて良かったと思いますか？



■ 同時中継講義は、外来の見学と比べて良かったと思いますか？



■ 同時中継講義について、自由に感想や意見を記入してください(誤字脱字等そのまま掲載しています)

- ・リップサポートの決定などを実際に見られておもしろかったです。
- ・実習ではマネキンでやったので、実際に患者さんにやっているのを見て、理解が深まったと思います。
- ・楽しく授業が受けれました。
- ・水口先生の手際の良さが見られてよかったです。
- ・今回はマネキンの実習で行ったのである程度イメージはつかめていたが、やはり実際の患者さんを見るとすごく分かりやすかった。
- ・他の中継もみたいです。
- ・実際に見学するよりも細かい部分まで見えてとてもよかったです。
- ・実際の外来にいるようで、とてもわかりやすかったです。
- ・確認すべき点などが、授業や実習でできていた点と同じだったのでわかりやすかったです。
- ・外来を見学しても結局よく見えないし、説明もその場であまり受けられないので中継はいい。
- ・実際の臨床の感じがわかり、モチベーションが上がると思いました。

- ・できれば、この実習をする時期に合わせて見せてもらえたら、もっと実習の時の理解が深まったと思います。
- ・ただ、実習をやった後ゆえに、ワックスの軟化具合など、臨床ではもっと気をつけなくてはならないなあと感じることもありました。
- ・実際の診療の雰囲気と手法の説明を同時に学べる。
- ・患者さんに治療している様子を見ることができ、咬合高径を行う時の流れをイメージしやすくなりました。ありがとうございました。
- ・カメラワークが難しそうなので、何かないかな、と思いました。
- ・治療説明のためのスライドも用意されており、とても理解に役立った。
- ・画面に学生名簿が映るとドキドキします。
- ・説明が分かりやすかった。ライブの間に講義で知識の確認ができるから良い。
- ・やはり暗いです。
- ・先生がこっちを見ると、ドキンとする。こんなに早くできない！
- ・金沢先生の解説がありがたかった。